

経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県公立豊岡病院組合 公立豊岡病院出石医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	6	-	ド訓	救 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	3,834	第2種該当	-	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
55	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	55
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
39	-	39

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の両縦・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

Ⅰ 地域において担っている役割

出石・但東地域唯一の病院として、プライマリケア・総合診療を中心とした医療を展開している。豊岡病院の後方支援病院として回復期を担うとともに、近隣の福祉施設や開業医とも密接に連携し地域密着型の医療を提供している。

プライマリケア・普段から何でも診てくれ、相談に乗ってくれる身近な医師による医療。急な体調不良の対応から健康診断の結果についての相談まで幅広く対応する。（⇒専門医療：特定の疾患を診る）

Ⅱ 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

医師不足により収益は減少しているが、出石・但東地域唯一の入院機能を維持するため一定の職員を配置しなければならない。そのため、給与費比率(⑦)は平均よりも高く、経常収支・医業収支(①②)は平均を下回る赤字が続いている。地域包括ケア病床の効率的な運用により診療単価の向上を図るほか、転院患者の積極的な受け入れ等、経営改善に向けて積極的に取り組んでいるが、根本的な赤字解消には至っていない。

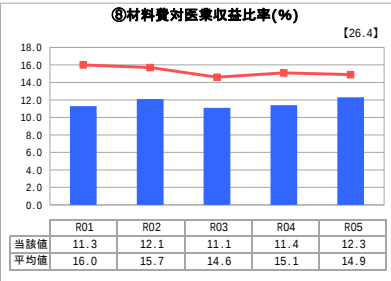
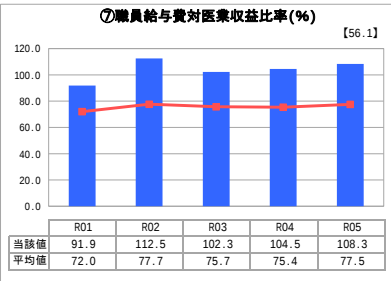
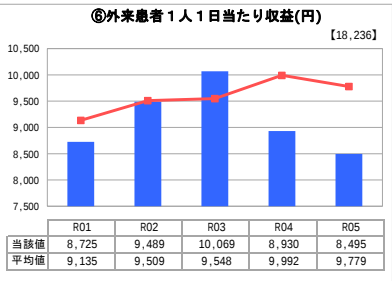
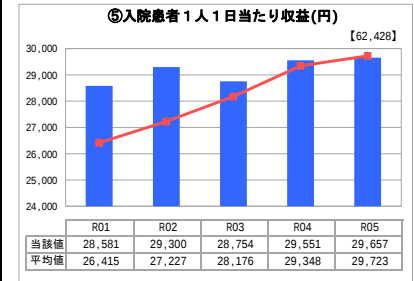
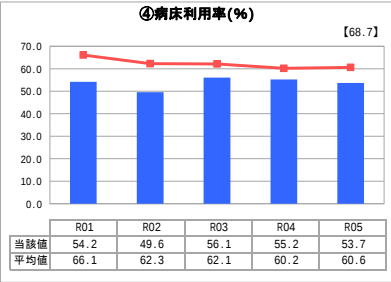
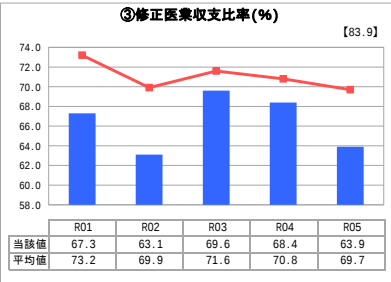
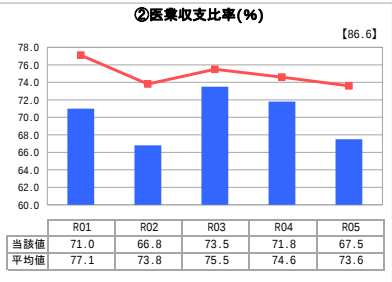
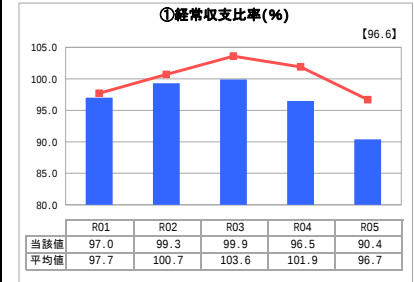
2. 老朽化の状況について

平成9年に移転建て替えし、令和6年現在で28年が経過した。空調設備等の建物設備に不具合が発生する頻度も増え、その都度修繕対応を行っている。また、移転時に整備した医療機器も計画的に更新対応を行っている。

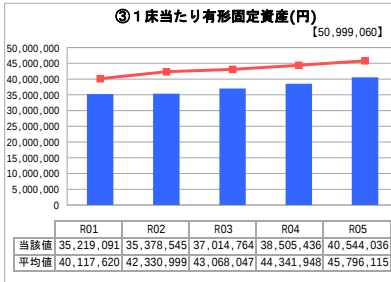
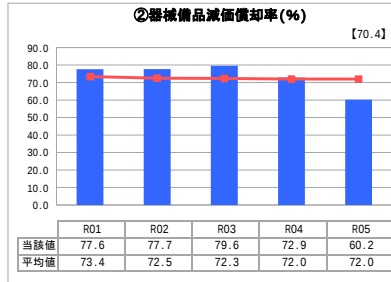
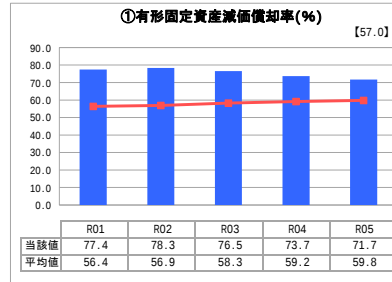
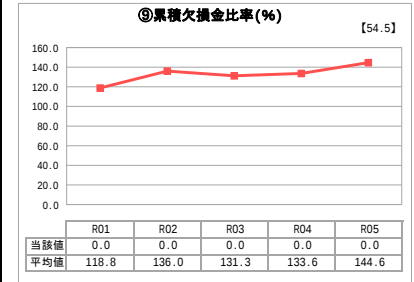
全体総括

病床数に対して医師が不足しており、病床利用率(④)が低い。医師確保が喫緊の課題であるが、施設基準の取得による診療単価の向上やレスパイト入院の受け入れ、豊岡病院との連携強化による更なる転院患者数の増加など、多様な取り組みを実施して収益強化を図り、収支均衡を目指す。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。